

令和4年度 桜区市民活動ネットワーク登録団体交流会・ 桜区取組事業にかかる広聴会 開催概要

開催日時	令和4年8月24日(水) 午後2時～4時38分
参加団体	桜区市民活動ネットワーク登録団体 浦和工業団地協同組合、エコリサイクル・桜、田島ケ原のサクラソウを守る会、桜区スポーツ振興会、荒川緑地エコ・ネット、特定非営利活動法人 無料塾ひこぎ、シニア PC サロン西堀、地域 ICT クラブさくら
参加者数	10人
区出席者	区長、副区長、区民生活部長、コミュニティ課長
事務局	コミュニティ課

1 桜区市民活動ネットワーク登録団体交流会

【団体活動紹介】

浦和工業団地協同組合

昭和61年に浦和工業団地協同組合を発足。サマーフェスティバルなどを開催し、地域の方々との交流を深めている。毎年1,000人くらいの来場者があり、子供たちを対象としたイベントも多数行っていたが、ここ3年間は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。来年は開催できることを願う。

エコリサイクル・桜

エコリサイクル・桜の活動主体は、家庭ごみの減量と再利用である。会の歴史は長く、昭和60年代だと思うが、旧浦和市域の女性20数名でリサイクル女性会議という形で出発した。

桜区役所入口に展示してある区の花サクラソウの造花は、エコリサイクル・桜が、雑紙や布の切れ端を再利用し製作した。

田島ケ原のサクラソウを守る会

田島ケ原サクラソウ自生地は阿寒湖のマリモ、屋久島の杉と同様に、とても価値の高いものである。また、サクラソウは埼玉県、さいたま市、そして桜区の花として県民、市民に親しまれているので、地域にサクラソウの大切さや育て方を根付かせたい。

桜区スポーツ振興会

会の大きな活動は、毎年1回春に開催する秋ヶ瀬公園の周辺を7キロ前後歩くウォーキングである。他には、桜区区民ふれあいまつりなどのイベントへ参加しニュースポーツの振興活動、さいたま市スポーツ推進委員が開催する研修に参加し、学んできたことを地域の皆さんに広めるために活動している。



荒川緑地エコ・ネット

会では、荒川中流域左岸の河川敷で希少になった動物の保護や自然環境の保全活動をしている。

特定非営利活動法人無料塾ひこぞ

経済的に困難を抱えている、塾に行きたくても行けない子供たちを対象に2014年に5人で塾を立ち上げた。開塾当初は、生徒が1人、2人しか来ず、あまり必要とされてないと感じたが、すぐに30人を超えるようになった。

また、現在は埼玉大学の学生ボランティアも加わり、講師20人の体制で活動している。

シニアPCサロン西堀

さいたま市の地域ICTリーダーとして、地域に密着した活動ができないかと思い、シニア向けのパソコン教室を区内5つの公民館で開催している。また、夏休みに小学生を対象にビスケットプログラミング教室を開催している。

地域ICTクラブさくら

当会は、昨年12月に地域ICTリーダーをメンバーとした4人で発足した。

活動は、パソコン、スマホ、タブレットなどの講座を通して地域の皆様にICT技術の活用を普及することをメインテーマとして、区内等の公民館などで初心者向けのスマホ講座や小学生向けのプログラミング講座を開催している。

2 桜区取組事業にかかる広聴会

【テーマ「田島ヶ原サクラソウ自生地PR」についての意見交換】

<主な意見>

●サクラソウが開花する3月中旬から、田島ヶ原サクラソウ自生地サクラソウを見に来る方が多くなる。浦和駅からバスで来る方は、自生地のすぐ近くにバス停があり、バス停近くにはのぼり旗もあるので迷うことはない。

しかし、西浦和駅を利用し、徒歩で自生地へ来る方は、自生地まで距離があるため道順が分からず迷ってしまうことが多い。サクラソウの開花期間中に西浦和駅から自生地までの間に、案内板などを設置してほしい。

広聴会のテーマである「田島ヶ原サクラソウ自生地PR」というのは、自生地を見に来るという目的を持たない人を引っ張り込むことがPRだと思う。例えば、車を運転している人が設置された案内板を見て、自生地に行ってみようと思うように誘導することがPRではないか。

●自生地のPRや保護について、市役所の色々な部署が関わっていると思う。例えば、区役所や教育委員会であるが、視点が全然違う方向を向いているように感じる。



職員間で意見交換、交流、コミュニケーションを図りながら、各部署での役割分担をはっきりさせてほしい。

●所属する会の活動で、毎春ウォーキングを開催している。開催時期がサクラソウの開花期間と重なっているため、次年度の開催時に自生地を組み込んだコースを検討し、自生地をPRしていきたい。

